

整理番号	44-26	事務事業名	(芸術文化推進事業) 社交ダンスパレード事業		作成部署	生涯学習部 社会教育課	電話	内線889
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	山内平一郎	課長職名	可児正樹	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	H10	根拠法令等	北広島市教育関係団体補助金等交付規則					
〃 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	従前は、市(町)と社交ダンス団体の共催事業として、ダンスミュージックパレード事業を実施していたが、社交ダンス団体の主体的な活動により、同事業の実施を目的とする北広島社交ダンス連合会が結成されたため、その活動を支援するために開始した。							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	豊かな心と個性ある文化をはぐくむまち	(第4章)
	節	芸術と文化	(第4節)
	施策	芸術文化活動の振興	(第1施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	社交ダンス連合会参加団体及び市民	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	社交ダンスを通じ加入団体及び個人の相互親睦を深め、住民意識の高揚と生涯学習活動の充実を図り社会の福祉に寄与する。また、参加者の多くが高齢者であり、単なる社会教育事業にとどまらず、高齢者のいきがいきづくり・健康づくりの一環としていく。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	【ダンスミュージックパレードの事業内容】 平成7年に教育委員会主導で成立した事業の趣旨を継承して、ダンスミュージックパレード事業の開催し、広く市民の参加の場を提供している。 平成16年10月3日(日)18:00~21:00 中央公民館講堂で開催。 参加者 120名
		17年度	同上 平成17年10月2日(日)18:00~21:00 中央公民館講堂で開催予定。 参加予定数 110名

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	135	128	122	122
	合計	135	128	122	122
人件費(概算)	人数(年間)	0.002	0.002	0.002	0.002
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	18	18	18	18
総事業費 +		153	146	140	140

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	事業参加者総数(人)	132	120	110	110
	うち社交ダンス連合会所属者	109	70	70	70
	うち社交ダンス連合会外の方	23	50	40	40
	参加する社交ダンス団体数	10	9	8	8
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	事業参加者総数(人)	132	120	110	110
	うち社交ダンス連合会所属者	109	70	70	70
	うち社交ダンス連合会外の方	23	50	40	40
	参加する社交ダンス団体数	10	9	8	8
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	事業参加者1人あたりのコスト	¥1,159	¥1,217	¥1,273	¥1,273
	(総事業費 / 事業参加者総数)				

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	市民の社交ダンスを通じた相互親睦、生涯学習活動の場として、質・量ともにより充実させていくことが課題。
---------------------------------	--

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	従前は市との共催事業として実施していたが、実行委員会組織による運営に対して支援する形態となり、市民の主体性は増し、市民と行政の協働の観点からも妥当と考える。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	実行委員会は市民で構成され、市民主導はもとより、事業参加に際して多くの市民に門戸を広げている意味でも交付は妥当と考える。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	より多くの市民に対してふれあう機会を創出していくとともに、主体者のほとんどが市民であることから適切と考える。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない		

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	社交ダンスにふれあう機会を中心に測定することとし、どれだけ多くの市民が参加したかにより判断した。	質の高い発表をはじめ、幅広い年代層の参加など、充実を図る必要がある。
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	社交ダンスに市民が触れ合う度合いとして算出した効率指標から考慮すると比較的廉価であると考え。	より多くの市民を(人間的・年代層的等の見地から)参加させる手法を講じていくことでより効率性が高まる。

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	高齢者の愛好者が多い実態から、高齢者の生きがいづくり・健康づくりの一環として、また、技術向上より幅広い交流の場として充実する必要がある。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	本事業は、上位施策からあくまで芸術文化活動の振興が目的であり、活動の支援を始めてから6年が経過する中で、他の文化団体等への活動支援との公平性の観点からも社交ダンス連合会の主体的事業へと転換する時期と考える。 今後、交付金の廃止について検討すること。

付 表

補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

整理番号	44-26
------	-------

【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	社交ダンスパレード事業交付金(旧ダンスミュージックパレード事業交付金)		
交付先の名称及び代表者名	北広島社交ダンス連合会 会長 佐藤保次	設立年	平成10年
構成員(団体)数	10団体 約250名 (17年3月末現在)		
交付先団体等の活動目的	社交ダンスを通じ加入団体及び個人の相互親睦を深め、住民意識の高揚と生涯学習活動の充実を図り社会の福祉に寄与する。		
交付先団体等の活動内容	平成7年に教育委員会主導で成立した事業の趣旨を継承して、社交ダンスパレード(旧ダンスミュージックパレード)事業の開催し、広く市民の参加の場を提供している。		
事務局の状況(16年度)	補助団体にある	市役所にある	
補助金等の充当状況(16年度)	運営費のみに充当	事業費のみに充当	運営費・事業費の双方に充当

【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位:千円)

	区 分	15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	
収 入	本市補助・交付金の額(A)	135	128	122	
	チケット売上金	54	53	55	
	社交ダンス連合会負担金	9	11	17	
	繰越金	0	0	0	
	収入合計(B)	198	192	194	
支 出	会議費	10	12	12	
	報償費	130	130	122	
	運営事務費	27	25	30	
	印刷製本費	12	10	15	
	施設使用料	19	15	15	
	支出合計(C)	198	192	194	
繰越金	収入(B) - 支出(C)	0	0	0	
全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)		68 %	67 %	63 %	
補助・交付金の対象経費(項目)		全ての経費(事業費)	全ての経費(事業費)	全ての経費(事業費)	
補助・交付金の対象経費(金額)(D)		198	192	194	
対象経費に対する補助・交付金の割合(A)÷(D)		68 %	67 %	63 %	
補助・交付金の算出根拠	定額(平成15年度:135千円、平成16年度:128千円、平成17年度:122千円)				